

関連図書

- [1] 前野譲二. Linux 演習. オーム社, 東京, 2005.
- [2] 小形克宏. 「文字の海、ビットの舟」文字コードが私たちに問いかけるもの.
<http://www.watch.impress.co.jp/internet/www/column/ogata/>.
- [3] S. Hambridge. Netiquette guidelines. <http://www.ietf.org/rfc/rfc1855.txt>, 1995. 日本語訳
<http://www.cgh.ed.jp/netiquette/rfc1855j.html>.
- [4] 奥村晴彦. LaTeX2 ε 美文書作成入門. 技術評論社, 東京, 改訂第4版, 2006.
- [5] 日本エディタースクール. 校正記号の使い方 第2版: タテ組・ヨコ組・欧文組. 日本エディタースクール出版部, 東京, 2007.
- [6] Bruce et al Alberts. Molecular biology of the cell. Garland Science, New York, 2002.
- [7] 馬場肇. Google の秘密 - pagerank 徹底解説. <http://www.kusastro.kyoto-u.ac.jp/%7Ebaba/wais/pagerank.html>, 2001.
- [8] American Psychological Association. APA 論文作成マニュアル. 医学書院, 東京, 2004.
- [9] Umberto Eco. 論文作法: 調査・研究・執筆の技術と手順. 而立書房, 東京, 1991.
- [10] Ron Fry. アメリカ式論文の書き方. 東京図書, 東京, 1994.
- [11] Darrell Huff. 統計でウソをつく法: 数式を使わない統計学入門. 講談社, 東京, 1968.
- [12] 中尾浩. Windows95 版人文系論文作法. 夏目書房, 東京, 1998.
- [13] 中尾浩. マッキントッシュによる人文系論文作法. 夏目書房, 東京, 1995.
- [14] 中島利勝. 知的な科学・技術文章の書き方: 実験レポート作成から学術論文構築まで. コロナ社, 東京, 1996.
- [15] 井出翁. レポート作成法: インターネット時代の情報の探し方. 日外アソシエーツ, 東京, 2003.
- [16] 伊丹敬之. 創造的論文の書き方. 有斐閣, 東京, 2001.
- [17] 伊藤義之. はじめてのレポート: レポート作成のための55のステップ. 嵯峨野書院, 京都, 2003.
- [18] 佐藤望. アカデミック・スキルズ: 大学生のための知的技法入門. 慶應義塾大学出版会, 東京, 2006.
- [19] 保坂弘司. レポート・小論文・卒論の書き方. 講談社, 東京, 1978.
- [20] 吉田健正. 大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方. ナカニシヤ出版, 京都, 第2版, 2004.
- [21] 君島浩. 日本語発表作法: 系統的トレーニング. 日科技連出版社, 東京, 2001.

第8章 Web パブリッシング入門

- [22] 君島浩. 日本語作文作法: 系統的トレーニング. 日科技連出版社, 東京, 2000.
- [23] 小林康夫. 新・知の技法. 東京大学出版会, 東京, 1998.
- [24] 小林康夫. 知の論理. 東京大学出版会, 東京, 1995.
- [25] 小林康夫. 知の技法: 東京大学教養学部「基礎演習」テキスト. 東京大学出版会, 東京, 1994.
- [26] 小笠原喜康. 議論のウソ. 講談社, 東京, 2005.
- [27] 小笠原喜康. インターネット完全活用編: 大学生のためのレポート・論文術. 講談社, 東京, 2003.
- [28] 小笠原喜康. 大学生のためのレポート・論文術. 講談社, 東京, 2002.
- [29] 慶應義塾大学. 卒業論文の手引. 慶應義塾大学出版会, 東京, 新版 新装版, 2003.
- [30] 戸田山和久. 論文の教室: レポートから卒論まで. 日本放送出版協会, 東京, 2002.
- [31] 斉藤孝. 学術論文の技法. 日本エディタースクール出版部, 東京, 新訂版, 2005.
- [32] 斉藤孝. 学術論文の技法. 日本エディタースクール出版部, 東京, 第2版, 1998.
- [33] 新堀聡. 評価される博士・修士・卒業論文の書き方・考え方. 同文館出版, 東京, 2002.
- [34] 日本エディタースクール. 日本語表記ルールブック. 日本エディタースクール出版部, 東京, 2005.
- [35] 日本エディタースクール. 原稿編集ルールブック: 原稿整理のポイント. 日本エディタースクール出版部, 東京, 2005.
- [36] 日本エディタースクール. 文字の組方ルールブック. 日本エディタースクール出版部, 東京, 2001.
- [37] 日本科学技術情報センター. SIST ハンドブック: 科学技術情報流通技術基準, 1989-.
- [38] 早稲田大学出版部. 卒論・ゼミ論の書き方. 早稲田大学出版部, 東京, 第2版, 2002.
- [39] 木下是雄. レポートの組み立て方. 筑摩書房, 東京, 1994.
- [40] 木下是雄. 理科系の作文技術. 中央公論社, 東京, 1981.
- [41] 木下長宏. 「名文」に学ぶ表現作法 続・大学生のためのレポート・小論文の書きかた. 明石書店, 東京, 2005.
- [42] 木下長宏. 大学生のためのレポート・小論文の書きかた. 明石書店, 東京, 2000.
- [43] 末武国弘. 科学論文をどう書くか: 口頭発表の仕方まで. 講談社, 東京, 1981.
- [44] 杉原厚吉. どう書くか: 理科系のための論文作法. 共立出版, 東京, 2001.
- [45] 東京大学教養学部. 人文・社会科学の統計学. 東京大学出版会, 東京, 1994.
- [46] 東京大学教養学部. 自然科学の統計学. 東京大学出版会, 東京, 1992.
- [47] 東京大学教養学部. 統計学入門. 東京大学出版会, 東京, 1991.
- [48] 東郷雄二. 東郷式文科系必修研究生活術. 夏目書房, 東京, 2000.
- [49] 桜井雅夫. レポート・論文の書き方: 上級. 慶應義塾大学出版会, 東京, 改訂版, 2003.

- [50] 水島洋. 科学論文がスラスラ書ける!パソコンのやさしい使い方: 図表・グラフ作成から統計解析, 画像処理, 電子投稿までこの1冊ですぐできる! 羊土社, 東京, 2005.
- [51] 沢田昭夫. 論文の書き方. 講談社, 東京, 1977.
- [52] 河野哲也. レポート・論文の書き方入門. 慶應義塾大学出版会, 東京, 第3版, 2002.
- [53] 渡辺徹. 学生・研究者・技術者のためのLATEXを用いた論文作成術. プレアデス出版, 大阪, 2006.
- [54] 為田英一郎. 文章作法入門. ナカニシヤ出版, 京都, 2004.
- [55] 石原千秋. 大学生の論文執筆法. 筑摩書房, 東京, 2006.
- [56] 祝部大輔. 科学論文作成テクニック. ビー・エヌ・エヌ, 東京, 1992.
- [57] 花井等. 論文の書き方マニュアル: ステップ式リサーチ戦略のすすめ. 有斐閣, 東京, 1997.
- [58] 藤田哲也. 大学基礎講座: 充実した大学生活をおくるために. 北大路書房, 京都, 改増版, 2006.
- [59] 藤田哲也. 大学基礎講座: これから大学で学ぶ人におくる「大学では教えてくれないこと」. 北大路書房, 京都, 2002.
- [60] 讃岐美智義. デジタル文献整理術: 最新 EndNote 活用ガイド. 克誠堂出版, 東京, 改訂第2版, 2005.
- [61] 讃岐美智義. 研究者のための文献管理 PC ソリューション: PubMed. 秀潤社, 東京, 2005.
- [62] 阪田せい子. だれも教えなかった論文・レポートの書き方. 総合法令出版, 東京, 1998.
- [63] 芝野耕司. JIS 漢字字典. 日本規格協会, 2002.
- [64] Stanton McCandlish. Eff's top 12 ways to protect your online privacy. http://www.eff.org/Privacy/eff_privacy_top_12.php, April 2002.
- [65] W3C. Web content accessibility guidelines 1.0. <http://www.w3.org/TR/1999/WAI-WebCONTENT-19990505>, 1999. 日本語訳 <http://www.zspc.com/documents/wcag10/>.
- [66] W3C. Web content accessibility guidelines 2.0. <http://www.w3.org/TR/2004/WD-WCAG20-20040311/>, 2004. 日本語訳 <http://alfasado.net/WD-WCAG20-20040311-JA/>.
- [67] 富士通株式会社. ウェブ・アクセシビリティ指針 日本語サイト向け 第2.01版. <http://jp.fujitsu.com/webaccessibility/v2/>, May 2006.
- [68] Microsoft Corporation. アクセシビリティホーム. <http://www.microsoft.com/japan/enable/default.msp>, October 2009.
- [69] ウェブアクセシビリティの情報提供コーナー: みんなのウェブ. <http://www2.nict.go.jp/ts/barrierfree/accessibility/>, 2003.
- [70] W3C. Xhtml basic. <http://www.w3.org/TR/xhtml1-basic/>, 2000.
- [71] W3C. Xhtml 1.0: The extensible hypertext markup language. <http://www.w3.org/TR/2000/REC-xhtml1-20000126>, 2000.
- [72] W3C. Xhtml 1.1 - module-based xhtml. <http://www.w3.org/TR/xhtml11/>, 2001.

第8章 Web パブリッシング入門

- [73] W3C. Xhtml 2.0 w3c working draft 22 july 2004. <http://www.w3.org/TR/2004/WD-xhtml2-20040722/>, 2004.
- [74] W3C. Html 4.01 specification. <http://www.w3.org/TR/REC-html40/>, 1999.
- [75] 早稲田大学メディアネットワークセンター. Wind における www 用コンテンツ作成に関するガイドライン. http://www.waseda.jp/mnc/RULES/rule_guideline.html, 2003.
- [76] Lawrence Page, Sergey Brin, Rajeev Motwani, and Terry Winograd. The pagerank citation ranking: Bringing order to the web. <http://www-db.stanford.edu/%7Ebackrub/pageranksub.ps>, 1998.
- [77] 山名早人, 近藤秀和. 解説: サーチエンジン google. 情報処理, 42 巻 8 号, pp. 775–780, 2001.
- [78] ヤコブニールセン. ユーザビリティエンジニアリング原論 - ユーザーのためのインタフェースデザイン. 東京電機大学出版局, 2002.
- [79] 黒須正明, 時津倫子, 伊東昌子. ユーザ工学入門 - 使い勝手を考える・ISO13407 への具体的アプローチ. 共立出版, 1999.
- [80] 警察庁生活安全局少年課. 少年非行等の概要 (平成 18 年 1 月～12 月). <http://www.npa.go.jp/safetylife/syonen34/20070215.pdf>, February 2007.
- [81] R Development Core Team. R: A Language and Environment for Statistical Computing. R Foundation for Statistical Computing, Vienna, Austria, 2011. ISBN 3-900051-07-0.

索引

— 数字・記号 —			
LaTeX	88	Google Scholar	67
TeX	87	Graphical User Interface	6
2進法	16	GREE	41
2バイト文字	17		
80番ポート	40	— H —	
— A —		HDD	3
AND	67	HTML	7, 129
ANSI	16	HTML-lint	136
Apache	130	HTTP	40, 131
ASCII	16	HTTPS	39
ASP	96	— I —	
— B —		Impress	113, 124
Bcc	38	International Standard Book Number	85
BitTorrent	37	International Standard Serial Number	85
— C —		Internet Protocol	35
Calc	75	IP	35
Captcha	97	IP アドレス	131
Cc	38	ISBN	
CD	3	see International Standard Book	
CGM		Number	85
see Consumer Generated Media		ISO-2022-JP	39, 155
66		ISSN	
Consumer Generated Media	41, 66	see International Standard Serial	
Cookie	57	Number	85
Copyright		— J —	
see 著作権	61	JavaScript	8
CPU	3	JIS	16, 110
CSS	159	JIS X 0213	16
CSV	7	JIS コード	155
— D —		JPEG	7
DeNA	41	— K —	
DOCTYPE 宣言	156	Keynote	113
DTP	109	— L —	
DVD	3	LAN	35
— E —		Linux	5
Electronic Frontier Foundation	56	— M —	
EUC	16, 155	Machine Readable Cataloging	68
— F —		MacOS	5
Facebook	41	MARC	
FFFTP	163	see B Machine Readable Cataloging	
FirePass	97	68	
Flash	132	Mean Time To Failure	25
FTP	40, 131, 134	Microsoft Excel	7
— G —		Microsoft Internet Explorer	130
GIF	7	Microsoft Office	5
GIMP	135	Microsoft Word	7
Google Books	67	MIME	39
		Mixi	41, 53
		Mozilla Firefox	130
		MP3	8
		MTA	37
		MUA	37
		Myspace	41
		— N —	
		NACISIS	70
		NII 論文ナビゲータ	70
		NOT	67, 68
		— O —	
		Online Public Access Catalog	68
		OPAC	
		see Online Public Access Catalog	
		68	
		OpenOffice.org	76
		OR	67, 68
		OS	5
		— P —	
		PC	2
		PDF	
		see Portable Document Format	
		7	
		Peer to Peer	37
		phishing	
		see フィッシング	
		54	
		PNG	7
		POP3	37
		Portable Document Format	7
		PowerPoint	113
		— R —	
		R	82
		RAM	3
		RefWorks	63, 96
		RFC	36
		— S —	
		SAS	82
		Scirus	70
		SEO	162
		Skype	37
		SMTP	37
		SNS	40
		see Social Networking Service	
		—を巡るトラブル	
		42	
		Social Networking Service	40, 53
		SPSS	82
		SSL	39
		SSL-VPN	97
		Steve Jobs	128
		Subject	38
		SVG	158
		— T —	
		TED	128

索引

TELNET	40	— え —	校正記号	109	
The Internet	35	絵文字	16	コーディング	74, 143
To	38	エルデシュ数	41	個人情報	56, 144
TRUSTe	56	— お —		個人情報の保護に関する規則	59
Twitter	41, 53	オークション	55	国会図書館	70
— U —		オーソリティ	131	コピー	4
URI	130	オープンソースソフトウェア	29	ごみ箱	11
URL	40, 130	オクテット	16	— さ —	
USB フラッシュメモリー	24	オペレーティングシステム	5	サーバー	130
UTF-16	155	オンライン・ジャーナル	65	差分バックアップ	27
UTF-8	16, 155	オンラインゲーム	41	参考文献	63
— V —		— か —		— し —	
VBA		カード目録	65	式	77
see Visual Basic Script	8	回線交換方式	36	システム識別子	156
VisiCalc	79	ガイドライン	50	実行形式ファイル	8
Visual Basic Script	8	外部識別子	156	質的データ	74
— W —		学外アクセス (早稲田大学図書館)	97	シフト JIS	16, 155
W3C	136	学術情報リソース	68	尺度	74
WAN	35	学生読書室	65	主記憶装置	3
Web ページ	40, 64	拡張カード	3	順序尺度	75
Wikipedia	66	拡張子	6	章	138
Windows	5, 8	簡条書き	149	情報化	50
WINE	66	頭文字	146	情報倫理	50
Winny	37	画像	153	— の定義	50
Workstation	2	画像処理	135	省略語	146
World Wide Web	36, 40	活字	109	初校	110
Write-N-Cite	103	かな漢字変換	15	初稿	110
WWW	40	カメラレディ	109	書誌情報	85
WYSIWYG	88	カレントセル	76	所有者識別子	156
— X —		間隔尺度	75	— す —	
XHTML	7, 129	関数	78	スキーム	131
XHTML Basic	139	完全原稿	109	スタートメニュー	12
XML 宣言	155	カンマ区切りテキスト	7	スタイル	85
— Z —		— き —		スプレッドシート	76
Z39.50	70	キーボード	3	スペーサー	109
ZIP	8	キーボード練習	13	— せ —	
Zynga	41	キーワード検索	70	節	138
— あ —		行	76	絶対参照	80
アウトラインプロセッサ	87	教員図書室	65	セル	76
アウトラインモード	87	強調	146	セル番地	76
アカデミックリテラシー	i	禁止行為	58, 111	全角	17
アクセスキー	147	— く —		— そ —	
宛先		空白文字	142	蔵書検索	70
— 電子メールの	52	組版	109	相対参照	80
アプリケーション	6, 12	クライアント	130	属性	139
アンカー	147	クライアント・サーバーモデル	37,	卒業論文	
暗号化	39	130	6	— のスタイル	111
— い —		クリック	6	ソフトウェア	2, 4
違法コピー	61	— け —		— た —	
入れ子	150	計算機	2	タイトル検索	69
インターネット	35	ケビンベコン数	41	タイトルバー	10
インデックスファイル	131	研究所図書室	65	タイトルページ	126
引用	62, 143	検索エンジン	66	妥当な XHTML	155
引用ビューア	103	— こ —		ダブルクリック	6
インライン要素	140, 144	語彙	158	段落	137, 138, 141
— う —		項	138	段落内強制改行	145
ウィンドウ	9	公開識別子	156	— ち —	
上書き保存	17	公開文言語	156	チェーンメール	52
		光学式ディスクドライブ	3	中央値	75
		校正	109	中央図書館	65

著作権	61, 154	パスワード	59	平均故障間隔	25
著作権の及ばない利用		脆弱な	59	ペイン	125
see 著作権法	62	—良い	59	ヘッダ	38, 157
著作権法	62	バックアップ	25, 106	—ほ—	
—て—		バックアップの種類	27	ポインタ	9
ディスクレイアウト	23	バックボーンネットワーク認証シス		ポート番号	40
ディスプレイ	3	テム	45	本文	38
ディレクトリー	22	ハラスメント	63	—ま—	
データ	4, 6	範囲の指定		マークアップ	137
データハンドリング	73	—における	81	マーク宣言	156
データベース	66	半角	17	マイコンピューター	9
テキスト	6	半角のカタカナ	17	マウス	3
テキストエディター	134	—ひ—		マザーボード	3
テキストファイル	134	引数	78	マスターページ	126
デスクトップ型	29	比尺度	75	マナー	50, 51
電源供給装置	3	ビット	16	—電子メールの	51
転載	62	ひな形		—み—	
電子メール	37	see テンプレート	124	見出し	137, 141
—のだいめい	52	表	151	—め—	
電子メールヘッダ	38	標準化	4	名義尺度	74
電子メール本文	38	—ふ—		メールループ	53
転送設定	53	ファイル	6, 22	メタ情報	155, 157
—電子メール	53	ファイルシステム	21	メモ帳	14, 134
添付ファイル	52	ファイル転送	163	—も—	
テンプレート	124	ファイルの保存	17	文字コード	16, 155
—と—		ファイル名	6, 19	文字の削除	14
道徳規範	50	フィッシング	54	文字の入力	14
匿名	60	ブール演算子	67	戻り値	78
図書カード	66	フォルダー	22	—ゆ—	
図書館	65	フォルダー名	19	有線 LAN 接続サービス	43
図書館の情報化	65	複製	62	—よ—	
ドライブレター	22	不正行為	111	要素の属性	147
—な—		不法行為	42	—り—	
ナビゲータ	87	プライバシー	56	離散量	74
名前空間	158	プライバシーマーク	56	リソース	131
名前を付けて保存	17	フラグメント	148	量的データ	74
—に—		プリインストール	12	リンク元	147
日本語の入力	14	フルバス	23	—る—	
—ね—		プレゼンテーション	114	ルート要素	156, 158
ネチケット	50	—示唆	115	ルベージ積分	73
ネチケットガイドライン	50	—スピーチ原稿	115	—れ—	
ネットワーク	35	—説得型	115	列	76
—の—		—の構造	117	連続量	74
ノート型	29	—の文字	118	レンダリング	138
—は—		—のリハーサル	123	—わ—	
パーソナルコンピューター	2	—のレイアウト	121	早稲田大学リポジトリ	70
ハードウェア	2	—報告型	115	ワンクリック詐欺	54
ハードディスクドライブ	3	プロキシ	44		
バイト	16	—の設定	44		
ハイパーテキスト	140, 147	ブログ	41		
ハイパーリファレンス	147	ブロック要素	140		
パケット	36	プロトコル	35		
パケット交換方式	36	プロフィール	41		
パス	23, 131	文献引用	145		
		文献参照	145		
		文献リスト	63		
		文書構造	138		
		文書要素	139		
		分類可能なデータ	74		
		—へ—			

アカデミックリテラシー（2012年度版）情報環境下での知の活用
—大学で学ぶために—

2012年4月1日発行

編著者 前野譲二・楠元範明

企 画 早稲田大学メディアネットワークセンター

発行所 早稲田大学メディアネットワークセンター

ISBN 978-4-9905736-1-4

本書の著作権は前野譲二・楠元範明・早稲田大学メディアネットワークセンターにあります。詳しくはライセンスの項目を参照ください。

©2005-2012 by Joji Maeno, Noriaki Kusumoto and Media Network Center, Waseda University.

Printed in Japan